

～下記の研究を行います～

『当院における ART 施行中の高齢者を対象とした処方調査』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】 当院における ART 施行中の高齢者を対象とした処方調査

【研究責任者】 中内 崇夫

【研究の目的】 当院を定期受診している高齢者の ART レジメンおよび併用薬を調査することで薬物間相互作用等や高齢による薬物動態の変化による有害事象の有無を確認する。

【研究の期間】 研究許可日～2019年3月31日

【研究の方法】 当院のみのデータを用いて行う後ろ向き観察研究

●対象となる患者さん

大阪医療センター感染症内科に定期受診している HIV-1 感染症患者のうち 2017 年 3 月において 65 歳以上の方

●研究に用いる試料・情報の種類

①患者基本情報

年齢、性別、受診している診療科、感染症内科および他診療科より処方された薬剤、他院より処方された薬剤のうち診療録に記載のある薬剤

②疾患情報

HIV-1 感染症

【研究の資金源】

特にありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

い。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 薬剤部 薬剤師 中内崇夫